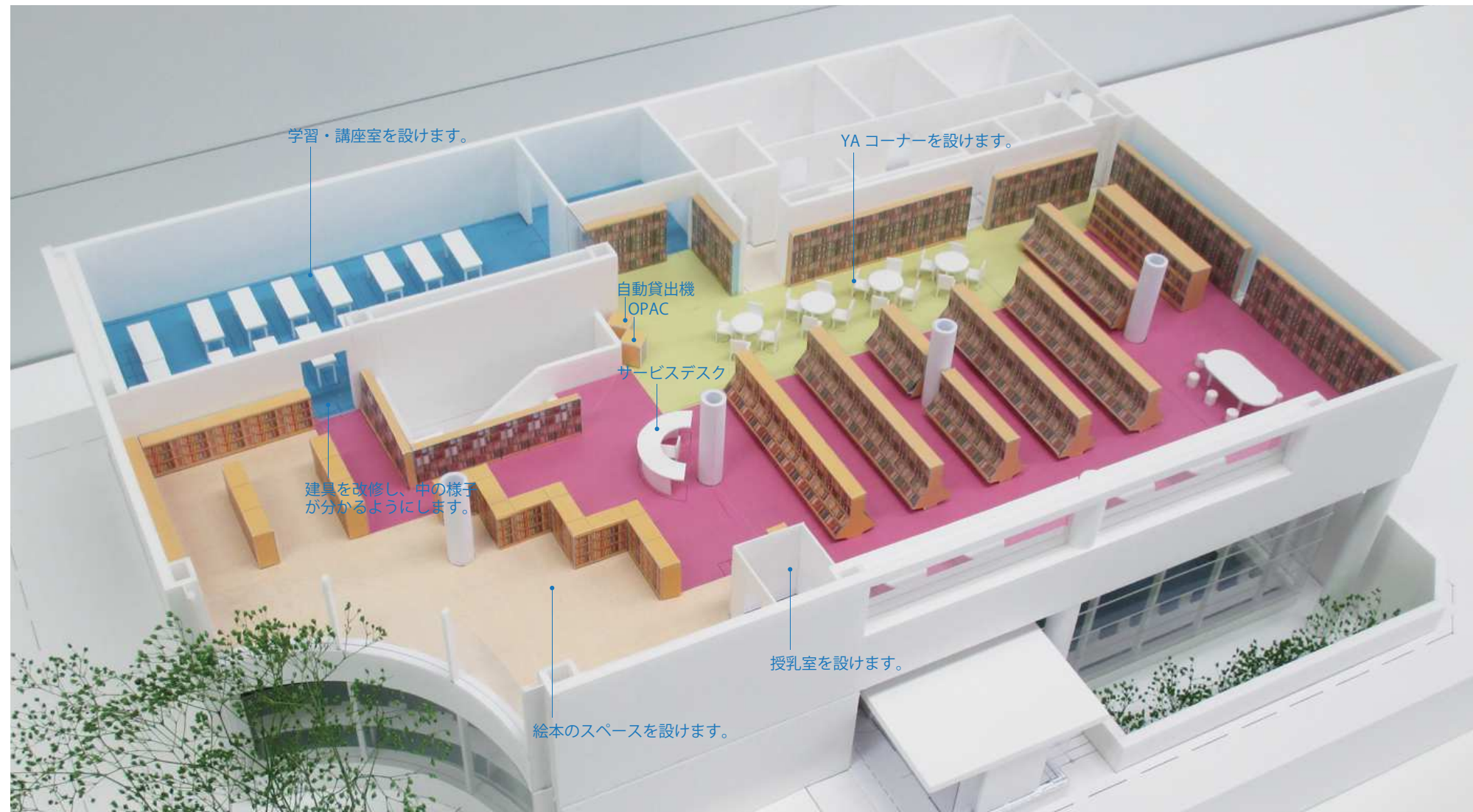


5. 各階の平面計画

(1) 2階の平面計画

2F 絵本・児童書と YA 図書のフロア

- ・西側の明るい場所に絵本のスペースを配置します。また、子ども用トイレの充実や授乳室の設置により、子ども連れの利用者が利用しやすくします。
- ・学習・講座室を設置し、図書館のイベントやボランティア活動で利用できるスペースとします。また、その活動の様子が開架室からも見られるように、扉の一部をガラス入りのものに改修します。
- ・イベント等で使用しない日は、学習室として開放し、YA コーナーと合わせて、中高生の居場所をつくります。
- ・利便性向上のため、自動貸出機を新設します。
- ・親子連れでも利用しやすくするため、同フロアに引き続き生活関連本を別置します。



書籍収容量と座席数

	リニューアル前	リニューアル後
収容量	22,000冊	27,000冊
座席数	32席	40+α席

主な改修メニュー

天井	天井面の塗装+照明器具交換(LED化)
壁	壁仕上げ面塗装・柱型塗装
床	タイルカーペット貼り替え
書架	絵本架・紙芝居架新設 児童書架再利用
閲覧席	児童用閲覧席再利用 YA用閲覧席新設 学習・講座室机・椅子新設
サイン	新設

2F 絵本・児童書と YA 図書のフロア

①学習・講座室

- ・図書館のイベントスペースや学習の場として使用できる学習・講座室を設けます。
- ・室内での活動の様子が見えるように、扉にはガラス窓を設置します。
- ・既存の可動間仕切りを維持し、部屋を2室に分けて利用できるようにします。
- ・中高生が図書館に来るきっかけとなるように、イベントのない時は、学習室として開放します。

②絵本のスペース

1) 素足で使える木の床

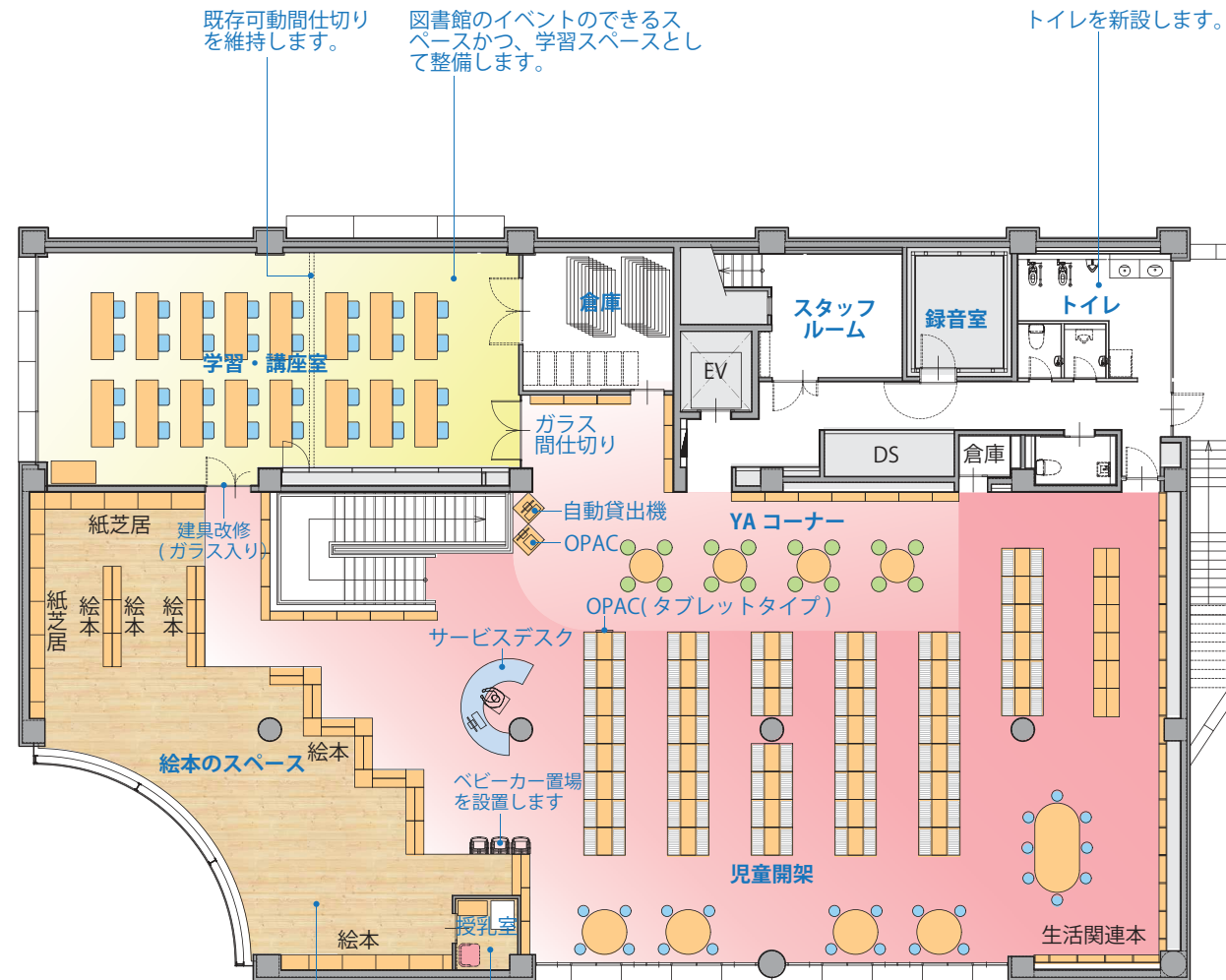
- ・はいはいやよちよち歩きの子どもたちを連れても安心して利用できるように、床は天然木板張りとし、喘息やアトピーなどの疾患に配慮すると同時に、おもらしや嘔吐の清掃もしやすいものとします。
- ・床は他の部分より60mm程度高く設定し、上がり口の付近に下足入れとベビーカー置き場を設置します。

2) 囲まれた安全なスペース

本で囲み、児童のスペースと区画します。絵本架の高さは3~4段程度として、見通しを良くしながら、子どもたちの安全を確保します。

3) 授乳室の設置

子育て世代にも図書館を利用しやすくするため、絵本のスペースに隣接して授乳室を設けます。授乳室には、ベビーベット、授乳用ソファ等を設置します。



既存可動間仕切りを維持します。

図書館のイベントのできるスペースかつ、学習スペースとして整備します。

トイレを新設します。

絵本のスペースの床は、板張りとし、小さな子どもがはいはいできる場所とします。

絵本のスペースに隣接して、授乳室を設けます。

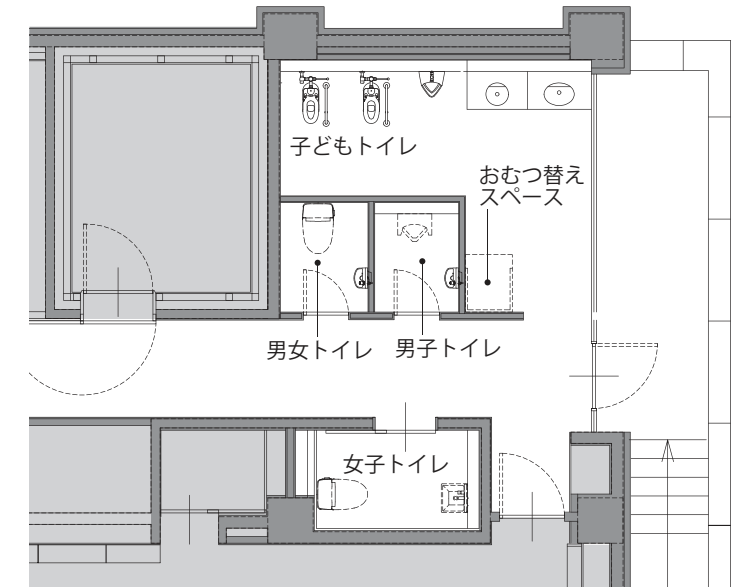
③YA(ヤングアダルト)コーナー

- ・吉祥寺図書館が中高生の居場所となるように、学習・講座室に近接させて、YA コーナーを設けます。
- ・YA コーナーには、専用の閲覧席を設けます。



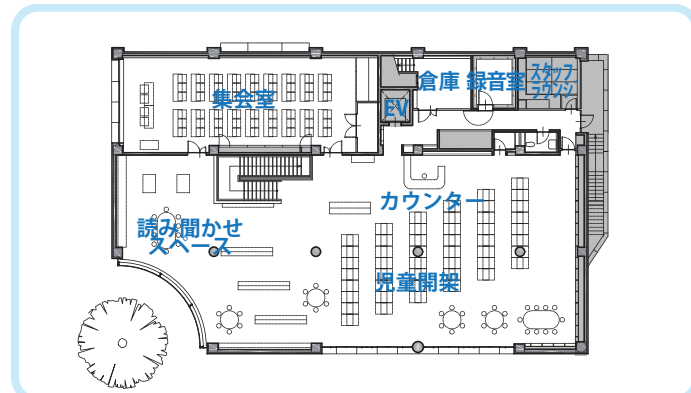
④トイレの設置

- ・2階の利用者が多くなることを想定し、2階にもトイレを設けます。
- ・子ども連れでも利用しやすいように、子ども用トイレとおむつ替えスペースを設けます。



⑤スタッフルームの設置

現在の倉庫をスタッフルームとし、急病人などを一時的に救護する部屋としても利用します。

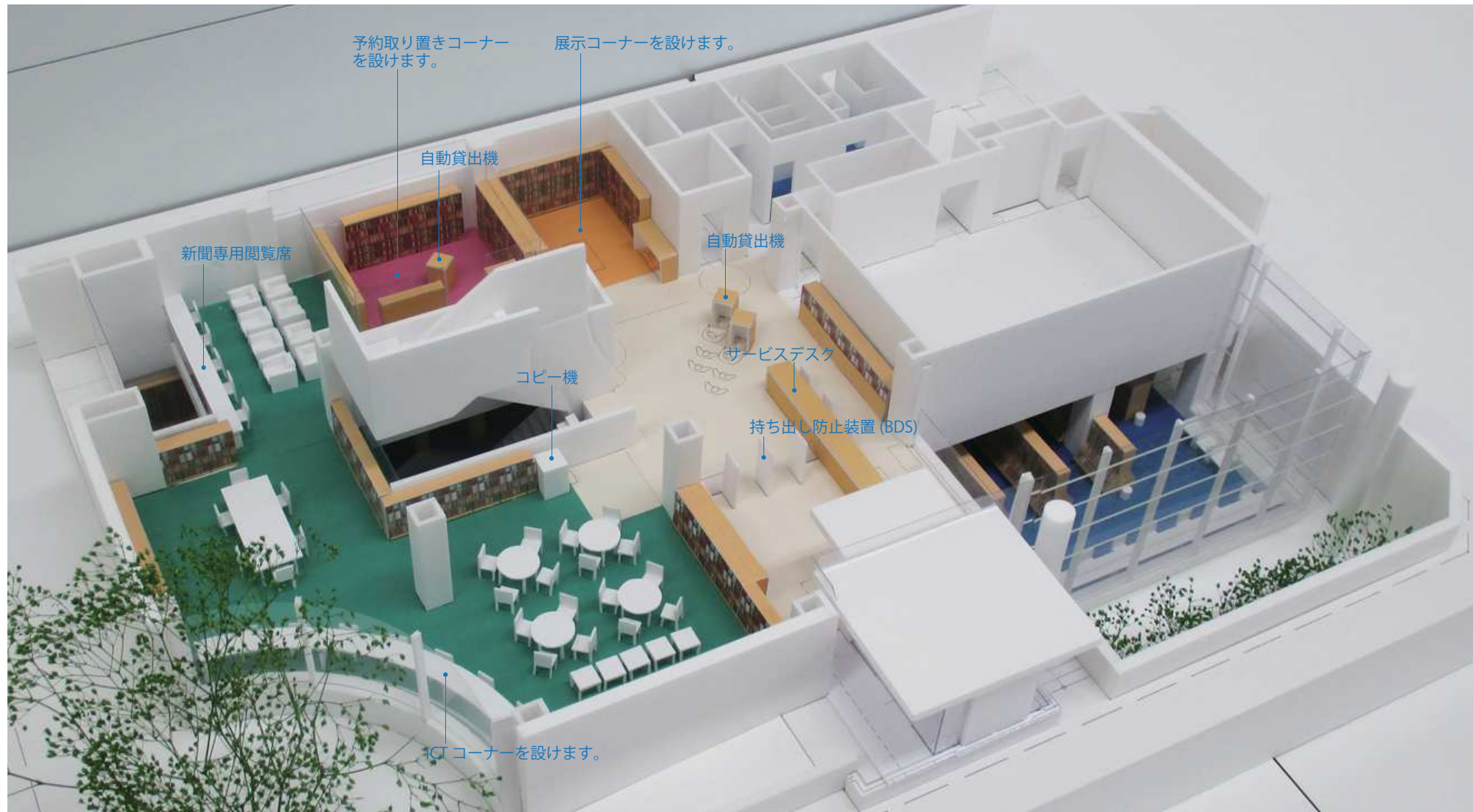


現在の2F

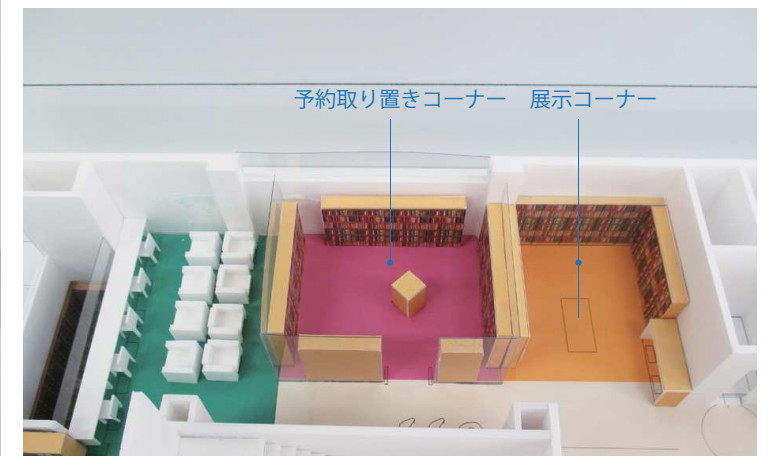
(2) 1階の平面計画

1F 地元情報、新聞、雑誌、話題の本のフロア

- ・展示コーナーを新設し、時宜に合ったテーマ展示を行うとともに、地元密着（吉祥寺図書館ならではの）情報の発信を積極的に行います。
- ・予約取り置きコーナーを新設し、予約本の受取りを自動で行えるようにすることで、予約本貸出の効率化と利用者のプライバシーを保護します。
- ・新聞・雑誌コーナーは、新聞専用閲覧席の設置や雑誌のレイアウトの工夫によって、様々な世代がそれぞれ気軽に利用でき、気持ち良く過ごせるように計画します。また、ICTコーナーを併設します。



ICTコーナーはカウンター席とし、気軽に使える雰囲気を作ります。ICTコーナーにはデータベース用PCを1台設置するほかWi-Fi環境を整備します。



予約取り置きコーナーは約2,700冊の収容冊数を確保し、予約機能の充実を図ります。展示コーナーでは、テーマ展示のほか、地域密着情報を発信し、吉祥寺のまちの魅力を来街者にも発信します。

書籍収容量と座席数

	リニューアル前	リニューアル後
収容量	3,150冊	1,350冊
座席数	41席	48席

※書籍収容量には雑誌、予約取り置きコーナーは含まない

主な改修メニュー

天井	天井面の塗装+照明器具交換(LED化)
壁	壁仕上げ面塗装・柱型塗装
床	タイルカーペット貼り替え
書架	予約取り置きコーナー・展示コーナー新設 雑誌架新設 一部再利用
閲覧席	カウンター席新設 新聞専用閲覧席新設
サイン	新設

1F 地元情報、新聞、雑誌、話題の本のフロア

① 展示コーナーの設置

入口正面に展示コーナーを設け、吉祥寺ならではの地域情報の発信やテーマ展示を行います。地域の人たちはもちろん、来街者にも気軽に立ち寄ってもらう図書館を目指します。

② 予約機能の充実

- ・現在は、すべての予約対応をサービスデスクで行っています。アンテナ付予約棚と予約照会機、自動貸出機を配置した予約取り置きコーナーを設けることで、予約本の受け取りをセルフで行うことが可能になり、より効率的に予約サービスを提供することができます。
- ・また、予約棚は最大 2,700 冊程度収容でき、今後の予約数の増加にも対応できます。

③ ICTコーナー

- ・新聞・雑誌の電子版への対応も想定し、新聞・雑誌コーナーに近接させて「ICTコーナー」を設け、インターネットの閲覧環境を整備します。
- ・ICTコーナーには、データベース用 PC を設置します。

④ 新聞・雑誌コーナー

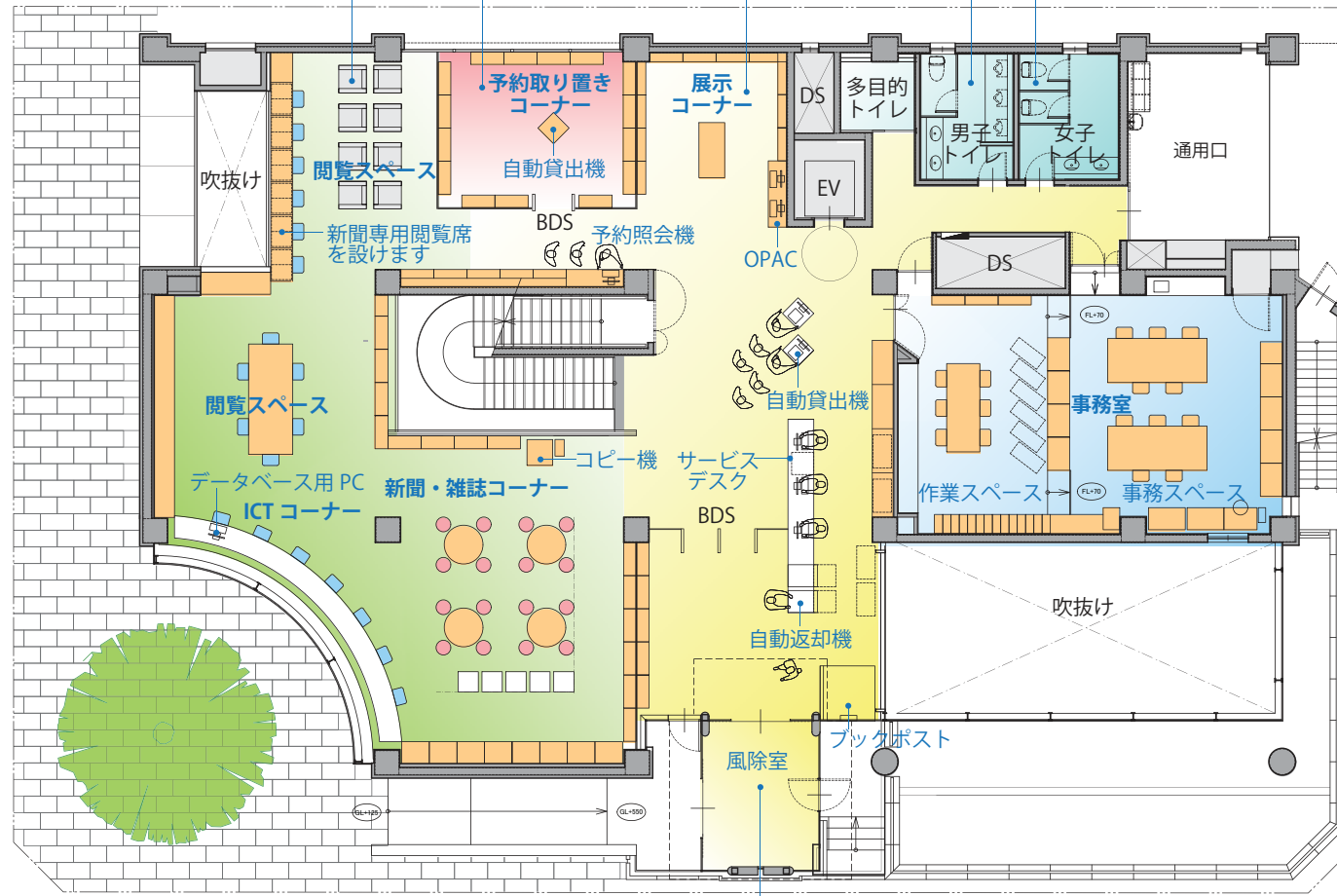
- ・新聞・雑誌コーナーはレイアウトを大きく変更し、吉祥寺図書館の明るい雰囲気が外からも感じられるようにします。
- ・雑誌は、音楽やファッション、女性誌などを入口近くに配置し、若者や女性も気軽に利用できる雰囲気を作ります。
- ・北側には、新聞の専用閲覧席やゆったりと読むことのできるソファを配置し、図書館を日常的に利用する方たちにも落ち着いた雰囲気の快適な環境を提供します。

図書館を日常的に利用する方が落ち着いて過ごせる閲覧席を設けます。

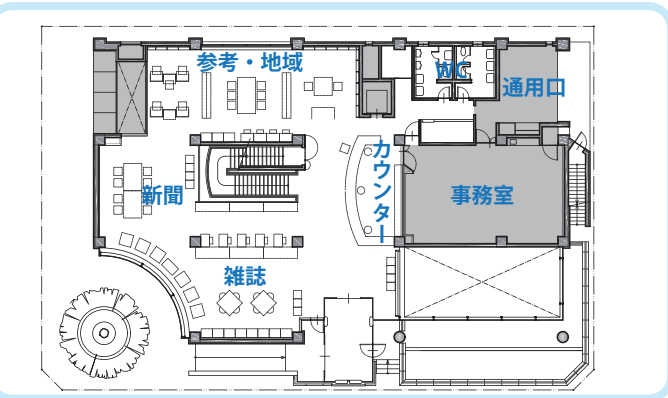
最大約 2,700 冊の予約本を収容できます。

展示コーナーを設け、吉祥寺の情報の発信やテーマ展示を行います。

トイレをリニューアルします。



自動ドアの位置を変更し、エントランスを広く取ります。



現在の 1F

⑤ トイレのリニューアル

トイレは開館後 30 年を経て劣化し、前時代的なものであることは否定できません。男女ともにトイレをリニューアルし、使いやすいものとします。

⑥ エントランスのリニューアル

現在の入口とその周辺は、オリジナルの風除室とサービスカウンターの間から BDS(持ち出し防止装置)が設置され、窮屈な状態になっています。風除室を縮小し、入口まわりに余裕を持たせることで、より出入りしやすくします。



1) 自動貸出・自動返却

利用者のセルフサービス化により生み出されたマンパワーをレファレンスやフロアワークに振り向けることを可能にするために、自動貸出・自動返却機を導入をします。

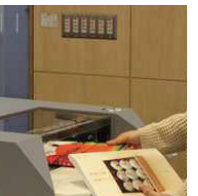
自動貸出機・自動返却機

利用者が自分で貸出手続きできる自動貸出機を増設します。一度に複数の資料の貸出手続きを素早く行えます。



自動貸出機のイメージ

返却口に借りた本を投入するだけで、返却ができる自動返却機を入口近くに新設します。



自動返却機のイメージ

2) エントランスの改修

風除室の構造体を維持しながら、内側の自動扉の位置を外側に寄せて、BDSを違和感のない位置に設置します。また、貸出・返却の自動化を前提としてサービスカウンターは小型化します。

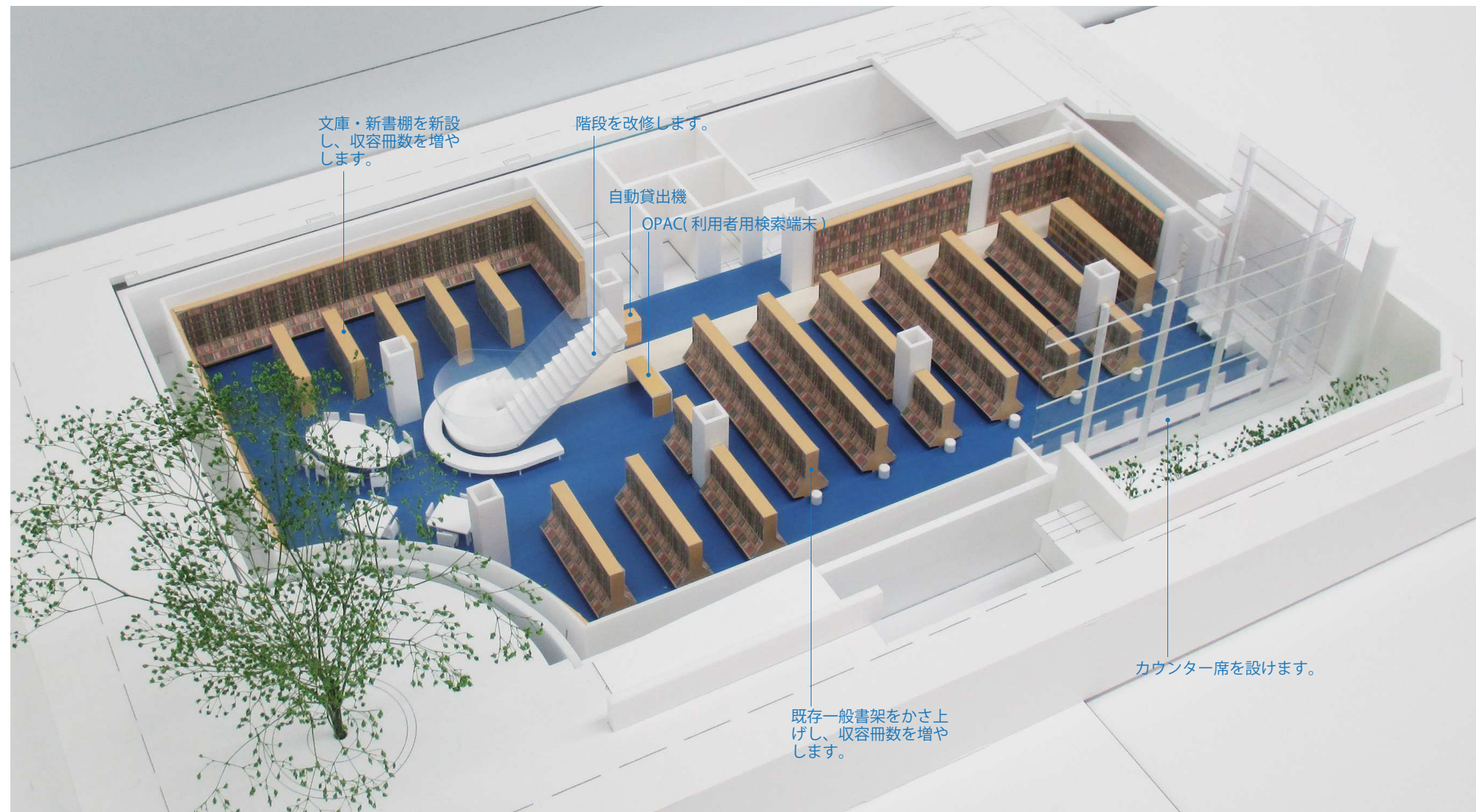
⑦ 事務室のリニューアル

事務室をより作業しやすく、また、デスクのレイアウトに可変性を持たせるために、一部を OA フロアとします。また、返却処理等をスムーズに行えるように、作業スペースは入口側に配置します。

(3) 地階の平面計画

B_F 一般図書フロア

- ・吉祥寺図書館の原設計の理念を継承し、設計者である鬼頭梓氏のデザインを活かしたものとします。
- ・書架はオリジナルのものにかさ上げを行い、収容冊数を増やします。また、カウンター席等の設置により、閲覧席の増席を行います。
- ・利便性向上のため、自動貸出機を新設します。



書籍収容量と座席数

	リニューアル前	リニューアル後
収容量	45,000冊	52,000冊
座席数	35席	50席

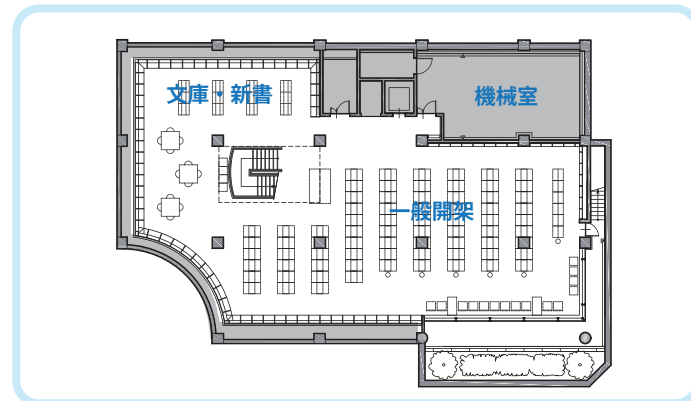
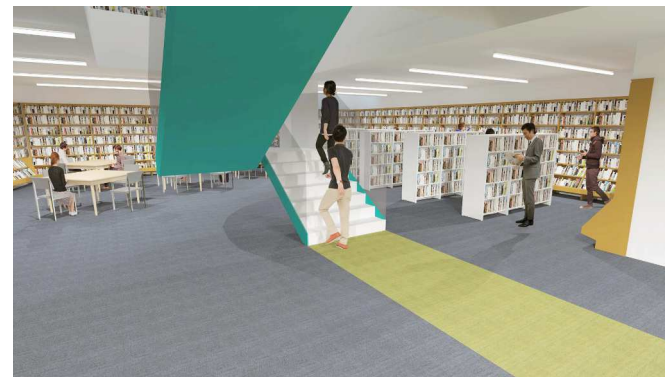
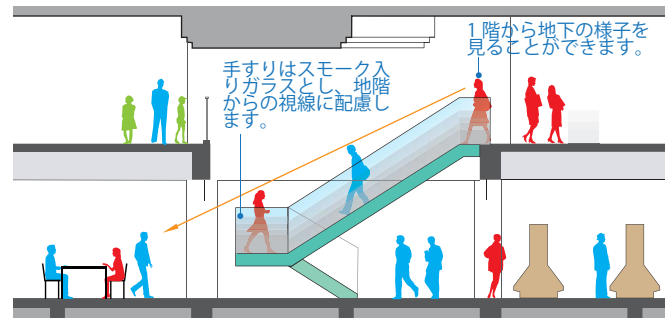
主な改修メニュー

天井	天井面の塗装+照明器具交換(LED化)
壁	壁仕上げ面塗装・柱型塗装
床	カーペットタイル貼り替え
書架	一般書架かさ上げ・文庫本架更新
閲覧席	カウンター席・階段廻りベンチ新設 一部新設
サイン	新設

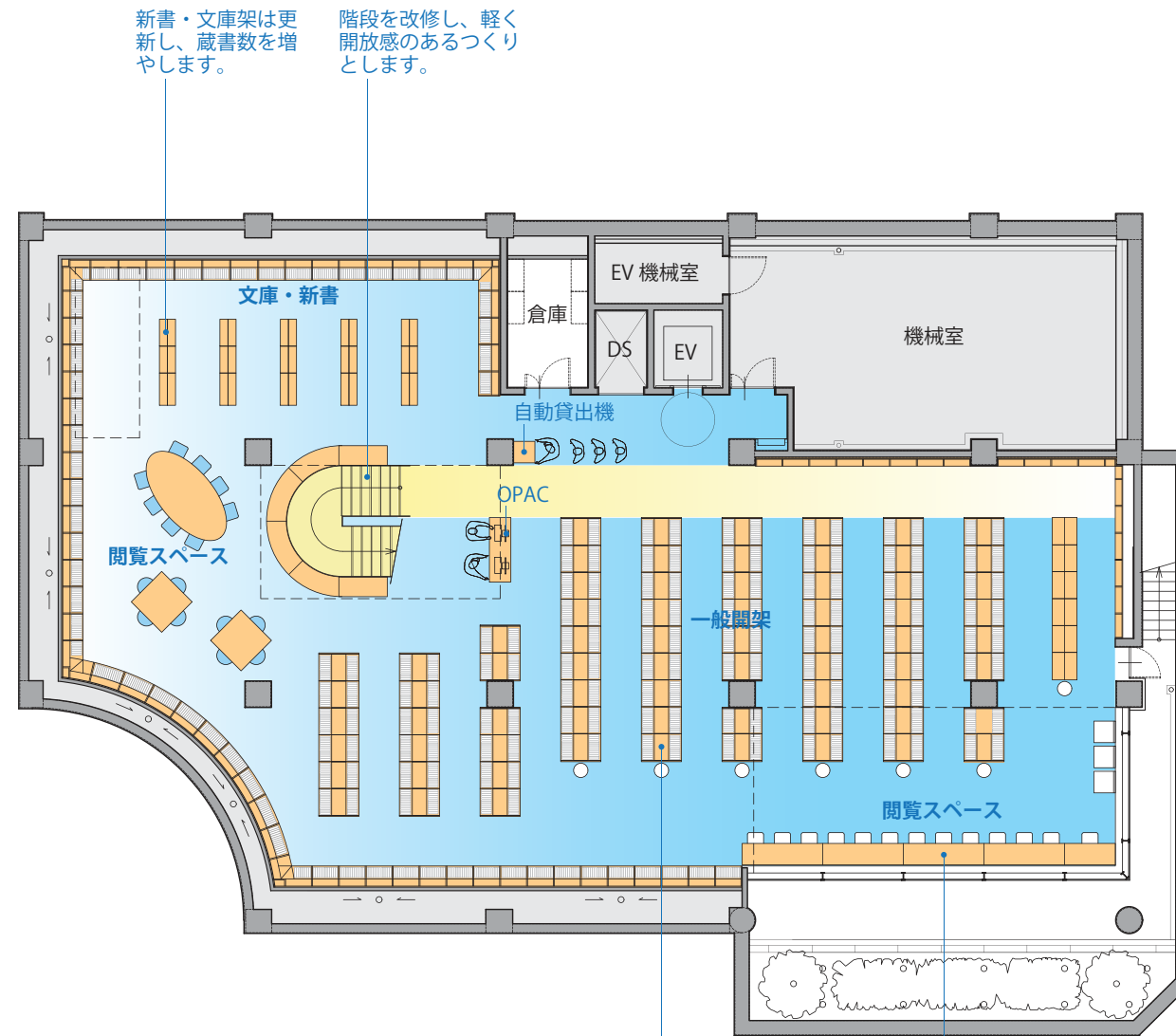
Bf 一般図書フロア

①階段を刷新して開放感を高める

- ・現在の1階から地階への階段はややかさばり、また、踊り場付近の手すりには覗き見防止の板が取り付けられ、階段周囲の吹抜けを閉鎖的なものになっています。この状態を解消するために、シンプルで開放的なデザインに改修します。
- ・手すりはガラスとし、足元の不透明から上端で透明になるグラデーションとして、利用者のプライバシーに配慮しながら、開放感を高めます。



現在のBF

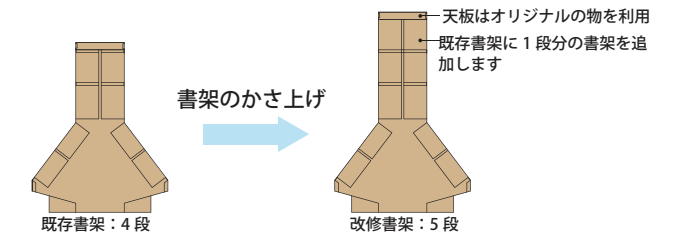


②蔵書収容力を高める

地下1階現況収容数 45,000冊	➡	地下1階改修後収容数 52,000冊	+7,000冊
----------------------	---	-----------------------	---------

1)書架のかさ上げ

- ・現況の独立書架は、若干の経年劣化は見られるものの、良好な状態を維持しています。書架1連が750mm（一般には900mm）であることから棚板のたわみも極めて小さく、また、蔵書数の増加に対応してかさ上げが可能な設計がなされています。
- ・オリジナルのアイデアを尊重して、書架のかさ上げを行います。



2)文庫本架の更新

- ・現在の文庫本架はやや収容効率が悪いことから、更新を図ります。

③内装の更新

階構成に合わせた床の色彩デザイン

- ・壁はオリジナルの色で再塗装を施し、天井も塗装を施して、新築当時の明るさを再生します。
- ・床はシックでクオリティの高い色調のタイルカーペットに貼り替え、原設計のデザインと調和した雰囲気とします。



6. 設備リニューアル計画

(1) 設備リニューアルの概要

設備に関しては、リニューアル計画による設備の改修と、今後 30 年の継続使用に必要な部分の更新を行います。

① 室の変更に伴う設備の改修

学習・講座室、トイレ等の間仕切りの変更に伴う設備の改修を行います。その他の室についても、レイアウトの変更、電源を必要とする機器の設置・移動等による設備の改修を行います。

② 照明の LED 化

- ・照明はすべてを LED 化することとし、省エネ性能を高めます。
- ・既存の天井は、できる限り撤去せずに工事が行えるように計画します。

③ トイレのリニューアル

トイレに関しては、本計画で重要な改修項目の一つです。子ども用トイレの設置と大人用トイレのレイアウト変更に伴い、衛生設備及び給排水設備の改修を行い、現代の図書館にふさわしいトイレ空間とします。

(2) 保全工事

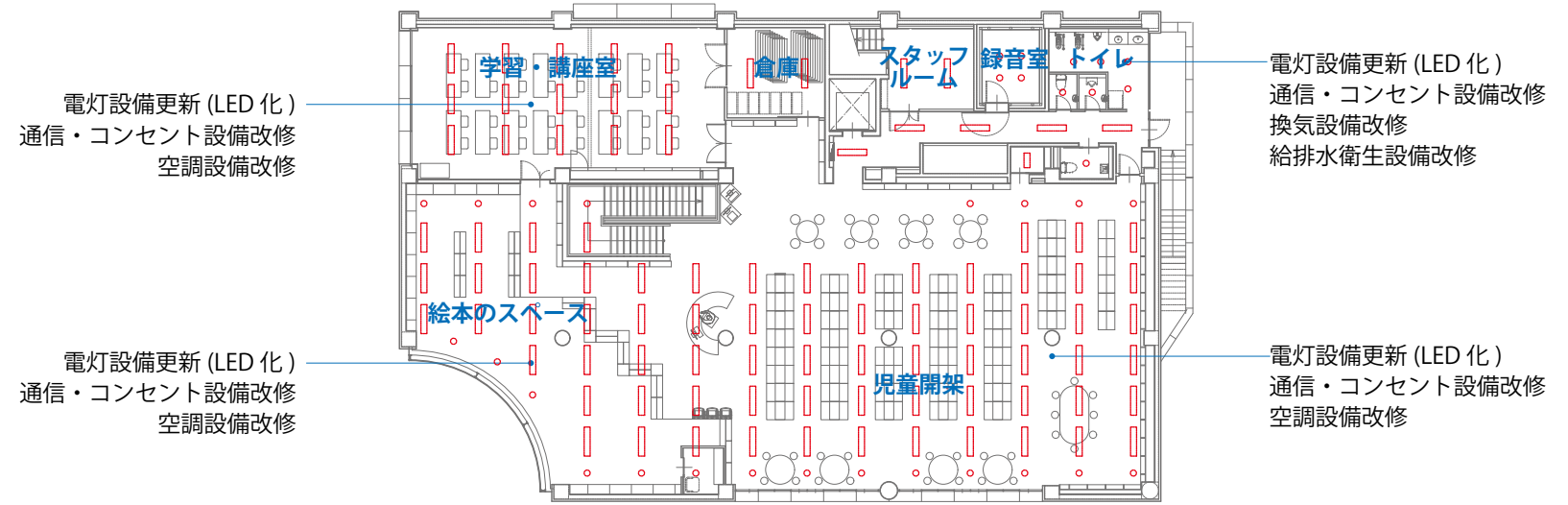
吉祥寺図書館は昭和 62 年に竣工し、現在築 30 年程度経過しています。設備に関しては、市の長期修繕計画に基づき、保全工事がなされてきています。ただし、今回のリニューアル工事により、一定期間閉館することから、閉館時に行うことが必要な工事をこの機会に行うこととします。

① 経年劣化への対応

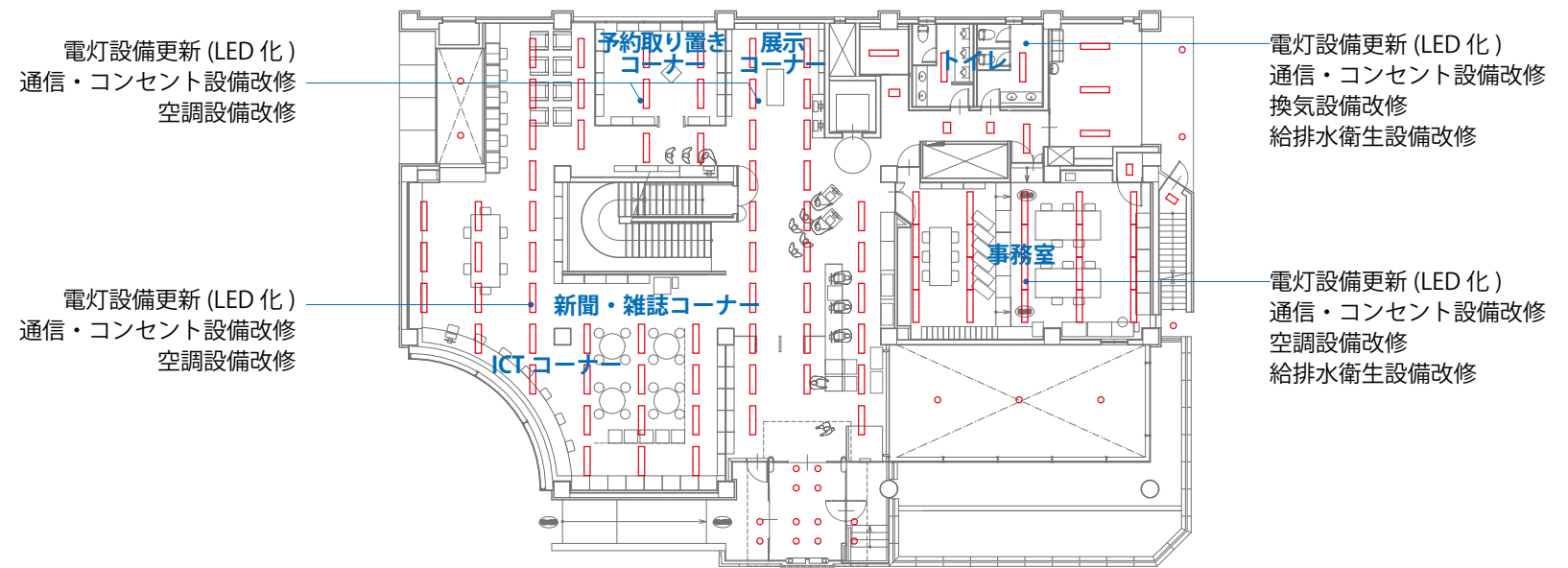
設備機器、器具及び管路（配線・配管）に関して、経年劣化及び今後 30 年の施設継続使用を考慮し、改修を行います。なお、既に更新されている設備及び空調ダクト等、継続利用可能な既施設は改修対象外とします。

② キュービクル（高圧受変電設備）の更新

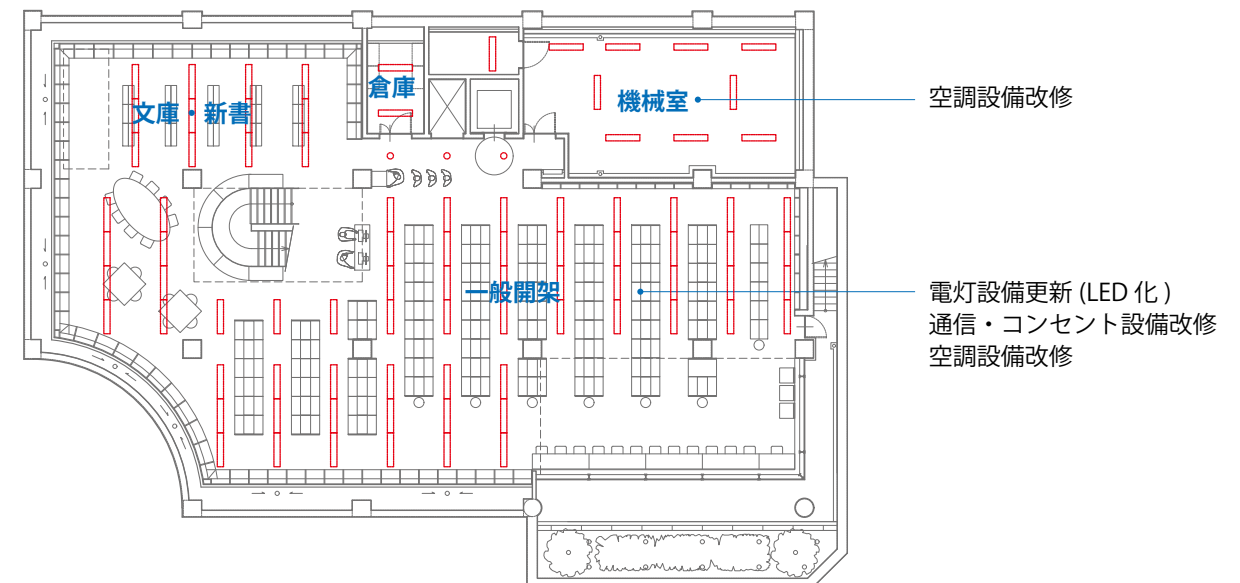
キュービクルは設置より 29 年経っており、かつ消防認定品のため、撤去・新設します。



2F



1F



Bf

7. スケジュール

